

新年度の予算編成

新年度の予算編成にあたっては、今までの慣習や前例にこだわることなく、その手法や手段を再構築する取り組みを更に進めるとともに、民間の知恵やアイデア、資金や技術、ノウハウを取り入れることにより、効果的・効率的な事業に転換することができるよう努めました。

平成 28 年度の予算総額

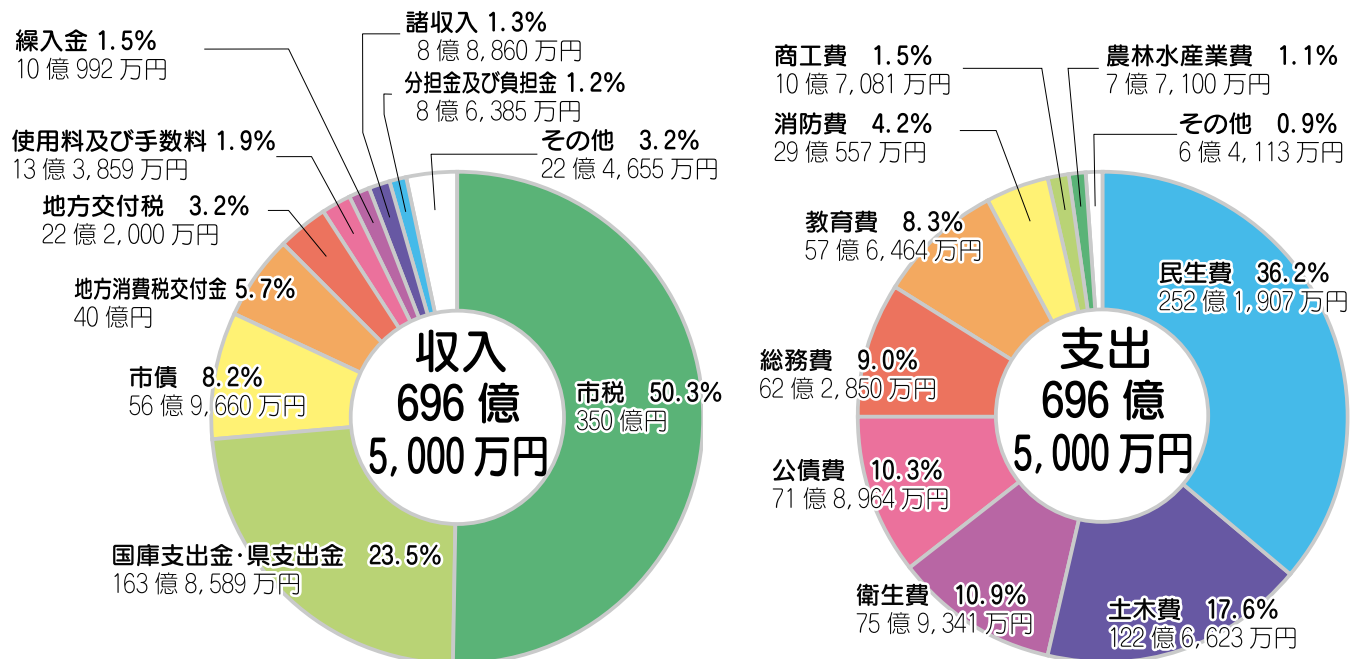
	平成 28 年度予算額	平成 27 年度予算額	伸び率
一般会計	696 億 5,000 万円	710 億円	△ 1.9%
特別会計	448 億 4,590 万円	448 億 4,510 万円	0%
・国民健康保険事業	271 億 1,100 万円	272 億 6,800 万円	△ 0.6%
・土地取得事業	5 億 1,600 万円	5 億 1,000 万円	1.2%
・介護保険事業	149 億 8,400 万円	149 億 8,300 万円	0%
・簡易水道事業	390 万円	410 万円	△ 4.9%
・後期高齢者医療事業	22 億 3,100 万円	20 億 8,000 万円	7.3%
企業会計	271 億 8,900 万円	281 億 6,900 万円	△ 3.5%
・病院事業	132 億 7,000 万円	134 億 7,000 万円	△ 1.5%
・水道事業	50 億 4,100 万円	52 億 600 万円	△ 3.2%
・下水道事業	88 億 7,800 万円	94 億 9,300 万円	△ 6.5%
全会計合計	1,416 億 8,490 万円	1,440 億 1,410 万円	△ 1.6%

※伸び率は、小数点以下第 2 位を四捨五入したものです。

用語解説

- ▶ **一般会計**…市民税や固定資産税などの市税を主な財源として、福祉や教育、道路の整備などの事業を行うための会計
- ▶ **特別会計**…国民健康保険など特定の事業を行う場合に、保険料などの特定収入で、その支出を賄う会計
- ▶ **企業会計**…病院の診察料や水道料金などの特定の収入を財源とし、独立して行う特別会計の中で、地方公営企業法の適用を受ける会計

一般会計の収入・支出



※割合は、小数点以下第 2 位を四捨五入したものです。

行財政運営

行財政運営にあたっては、「第 3 次沼津市行政改革プラン」に基づき、人口減少・少子高齢化などの社会状況や今後進んでいく公共施設の老朽化を見据えた中で、公共施設の管理、統廃合、長寿命化などに取り組んでいくとともに、「民間にできることは民間に」という方針に基づき、公の施設への指定管理者制度の導入や PFI 制度の更なる活用により、民間活力の導入を進めていきます。また、市有財産の有効活用や広告事業の拡大などにより新たな財源を確保していくとともに、新地方公会計制度の導入により整備される固定資産台帳などを活用し適切な資産管理や予算編成を図っていくなど、更なる行財政改革を推進していきます。

元気でいきいきと暮らせるまち

健康寿命を延ばすお手伝いを進めていくと同時に、出会い、結婚、妊娠、出産、子育て、教育などの人生それぞれのステージを応援します。

結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

▶ 出会い応援事業 【540 万円】

本市が誇る地域資源を活用した婚活イベント等の開催や公認婚活サポーター制度「縁結び隊」による仲介、婚活応援サイト「沼津の出逢い応援課」による情報提供などを行い、結婚に向けた積極的な支援を行います。



婚活イベント「駿河湾魅力体験ツアー＆海鮮バーベキュー」

▶ 不妊・不育症治療費助成事業 【5,000 万円】

不妊・不育症治療を行っている夫婦の経済的負担を減らすため、治療費等の助成を行います。

▶ マミーズほっとステーションぬまづ運営事業 【1,470 万円】

保健センターに開設する相談室「マミーズほっとステーションぬまづ」に母子保健コーディネーターを配置し、妊産婦に対する相談・支援体制の整備をするなど、妊娠から出産、産後を含めた切れ目のない支援を行います。

▶ 多様な保育サービス事業 【2 億 500 万円】

民間保育所等が行う延長保育や一時預かり事業の支援に加え、新たに病児保育を実施するなど、子育て世代のニーズに対応します。

▶ 民間保育所等施設整備事業【9,732 万円】

中央幼稚園の認定こども園移行に伴う施設整備に対して補助します。

▶ 待機児童等対策事業 【2,700 万円】

0～2 歳児の保育をサポートする民間保育園の運営に対して補助等を行います。

▶ ①施設型給付・地域型保育給付事業 【25 億 2,188 万円のうち 5,502 万円】

- ②公立保育所運営費【1 億 7,340 万円のうち 1,889 万円】
 - ③幼稚園運営管理費【2,878 万円のうち 81 万円】
 - ④幼稚園就園奨励事業【3 億 4,000 万円のうち 3,500 万円】
- ①～④の事業において第 2 子の保育料軽減と第 3 子以降の無償化を行います。

《ひとり親家庭への応援施策》

▶ ひとり親家庭等就学支援事業 【330 万円】

小学校に入学する児童のランドセルや学校指定用品の購入費用の助成を行うなど、経済的負担の軽減に取り組みます。

▶ シングルマザー等未来応援事業 【50 万円】

母子・父子自立支援員の活用を強化し、相談業務などの充実を図ります。

▶ 児童扶養手当支給事業 【7 億 9,300 万円のうち 4,500 万円】

第 2 子以降の加算分を最大で倍増します。

▶ 母子家庭等医療費助成事業 【4,613 万円】

▶ 母子家庭等自立支援事業【463 万円】

▶ 母子生活支援施設整備(民営化)事業 【3,814 万円】

平成 29 年度に野菊園跡地に開所予定の民設民営による施設整備に対して補助します。

夢ある人を育てるまちづくり

《英語学習の推進～英語でまちづくり～》

▶ 沼津まるごとイングリッシュ事業 【440 万円】

中学生に対して英語検定 3 級の受験料の補助などを行います。

▶ イングリッシュデビュー事業【50 万円】

0～3 歳児と保護者を対象に音楽や体操を取り入れた英語教室を実施します。

▶ 言語教育による表現力・読解力育成事業 【9,740 万円のうち 350 万円】

中学校 1・2 年生に対して ALT (外国語指導助手) の配置時間を増やし、外国人とレクリエーションを行う機会を設けるなど、英語学習の推進に取り組みます。

▶ いきいき学校生活応援スタッフ配置事業 【1,800 万円】

小学校において、児童が悩みや不安を相談できる支援員の配置時間を増やします。

▶ がんばる学校応援事業【900 万円】

地域資源の活用、地元の名人・識者などと交流を育むことで児童・生徒の郷土愛の醸成と地域に貢献できる人材育成に取り組みます。



各人に学ぶ日本舞踊(原小)

▶ 小・中学校施設大規模改修事業 【3 億 3,900 万円】

▶ 小・中学校施設洋式トイレ整備事業 【5,200 万円】

平成 30 年度までの 3 力年で公立小・中学校のトイレの 50% を洋式化します。

▶ 未来の担い手育成事業【160 万円】

高校生を始めとした若者の声や活力をまちづくりに反映していく取り組みを行います。

住みよい地域づくり

▶ コンビニ交付運用経費【945 万円】

マイナンバーカード(個人番号カード)を活用したコンビニ交付システムの導入に取り組みます。

▶ 第二地区センター建設事業【2,100 万円】

▶ 防犯まちづくり事業【4,650 万円】

保健・福祉・医療の充実

▶ 健康長寿を延ばす各種事業 【3,329 万円】

日常的に健康づくりに取り組み、健康長寿に寄与する各種事業を実施します。

▶ 千本プラザ施設整備事業【8,800 万円】

▶ 介護サービス提供体制整備促進事業【5,800 万円】

▶ 自立支援介護・訓練等給付費 【30 億 3,500 万円】

障害のある人の日常生活及び社会参加を総合的に支援するために、質の高い福祉サービス等を提供します。

▶ 生活保護者及び生活困窮者支援事業 【47 億 7,400 万円】

※予算額は万円未満を四捨五入したものです。